

# あつちゃんとの縁は宝

宍道湖の北岸、県庁や松江市役所にほど近い松江市西茶町の商店街に、その喫茶店「MG」はある。1969年8月に開業、今年の50周年を祝って開催されたコンサートやパーティーに全国から多くの常連客が訪れた。永遠の看板娘・あつちゃんと会うために。

(元永達夫)

やんと音楽談議を楽しんだ。同級生でギタリストの山本恭司さんも「毎日のように通つてカツ丼を食べていた」と当時を振り返る。

記念コンサートは開店30

周年の99年から5年おきに開催。50周年を祝う「秋一番コンサート」は9月28日に同市西津田のプラバホール会議室で開かれ、約200席は早々に完売した。佐野さんが司会を務め、山本さんは壮大なスケールの演奏を披露。当時店内で流れていた日本語ロックバンドの先駆け「はっぴいえんど」

店を切り盛りするのは浅野淳子さん(71)で、愛称は「あつちゃん」。元々の家業は自転車店だったが、経営者の父が早世。母が「日々収入があり、みんなが夢を感じられる場所に」と改装して喫茶店を開いた。

音楽好きなあつちゃんが国内外のロックをレコードで流していると、「松江にはない都会的な空間」など

## 喫茶MG50周年 松江

# 記念パー



との評判が広まり、島根大生や松江高専生、高校生らが好きなレコードを持ってきたり、あつちゃんにリクエストしたりして時間を過ぎようになつた。

開店の翌年から通つていれる俳優・佐野史郎さんは当時、県立松江南高生。「ロックがかかっている店」にひかれ、姉のようなあつち

野さんが司会を務め、山本さんは壮大なスケールの演奏を披露。当時店内で流れていた日本語ロックバンドの先駆け「はっぴいえんど」

## 記念コンサート・パーティー 芸能人や常連客祝う



のギタリスト・鈴木茂さんらも出演し、聴衆からは惜しみない拍手が送られた。

続いてJR松江駅前のホテルで催されたパーティーには150人が参加。島根大OBは70年代安保闘争のデモ参加後に店へ立ち寄った思い出話に花を咲かせ、店で伴侶と出会った人たちは「人生にとつてなくてはならなかつた場所」と感想を伝えた。最後にステージに立つた

あつちゃんは、ハンカチで目頭を押さえながら「お店で出会えた人たちが『私の心の宝物』です。まだもうちょっと頑張つて店を続けます」とあいさつ。満場のMGファンから大喝采を浴びた。

店休日は土曜日。週末を利用しても松江に帰省した人たちが立ち寄れるようにと

日曜日は開けている。土曜日だった28日のパーティーは午後10時まで大いに盛り上がつたが、翌29日は午前10時からいつも通り営業していた。客が来るたび、アイスピックで氷を割つて水を出し、メニューを詳しく説明する。

そんなへ変わらない▽安心感とへ走り続ける▽エネルギーがMGの魅力なのだろう。92年の松江赴任以来、ご縁をいただいているが、まだその全容に迫れない。これからもある重い木のドアを開け、カウベルの音を聞きつつ、あつちゃんの笑顔と出雲弁に励まされたいと思う。「元気にしちょうなつたかね」って、いつも

50年変わらぬ外観の喫茶 MG(松江市西茶町で)

パーティードでいざつするあつちゃん(松江市で)